

☆年長まではとにかく遊ぼう

保育園では年長さんになるまでは年長になることへの憧れや楽しみを大事にします。年長になるまで、自然と触れ合い、イメージを広げてたくさん遊んでいろいろな経験をして、健康な心と生きる力を養います。子どもから遊びを奪うことは生きる力を削ぐことになります。

☆憧れの年長さんになったら…コマ回し・竹馬・まりつきに逆上がり、卒園旅行に八甲田登山！？

年長だけの活動が盛りたくさんです。

〈行事〉

春…よさこい夢まつり、お茶飲み会、社会見学(つつじ)、遠足

夏…お泊り保育、社会見学(養豚)、八甲田登山、夏祭り

秋…運動会(逆上がり・板のぼり・跳び箱)卒園旅行

冬…施設慰問、たこあげ、節分、お茶飲み会、卒園合宿、卒園式(側転・竹馬・まりつき・コマ回し)

〈制作物〉主に園児たちが季節の行事ごとにもらうおみやげを入れる袋など

春…ぞうきん縫い、なわとび編み、こいのぼり制作

夏…七夕飾り制作

秋…七五三制作、運動会メダル制作

冬…クリスマス制作、凧制作、鬼のお面制作、おひな様制作、自画像制作

〈通年の活動〉

英語であそぼう、ヒップホップ、生け花、表現遊び、水墨画、日本舞踊

〈その他〉

畑づくり・野菜の栽培・収穫



☆子どもにとって自然と遊びは無限の知識の宝庫です

自然の中で遊んだ経験は生きる意欲につながっていきます。

子どもは遊びの中で間違い・失敗を経験し、それを乗り越えて成長していきます。

遊びを通して生きる意欲があらわれるのが子どもの生活です。

小さな森保育園では0歳から6歳までの遊びの意欲を大切にしています。

★外遊び★

幼児期に必要な水・土・太陽・泥・砂など(次々に形や感触が変わるもの)の自然と親しみ、四季を感じ、動植物と触れ合うことは、全身に様々な刺激を与え、健康な心と身体を育てます。また、季節を問わず、毎日散歩に行つてたくさん歩きます。指先、足の裏からの刺激がすべて大脳に伝わります。

★伝承遊び★

自然の様々なことが歌われているため自然・天気・生きとし、生けるものたちに愛情を持つようになります。

〈わらべうた〉

子どもの心を強くし、愛を育て、他者と助け合い、共に生きることの喜びを教えることができます。

仲間とわらべうたで遊び、自然と身につくこと…

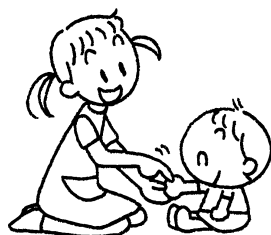
- 遊びのルールや順序を守ることを学びます。
- 協力すること(みんなでするから一層楽しいということに気付きます)
- 判断力や敏捷性(わらべうたで遊ぶ中には、すばやく判断したり、行動することが必要とされる場合があります。)
- 語が増え、発音が明瞭になります。(繰り返すことで明瞭な発音を促します)
- 前後・左右などの位置関係や、方向感覚を養います。
→日常生活では、前後・左右に繰り返しかえし動くことは少ないです。左・右の感覚も体験を通して確立します。鬼が目をつぶる遊びが多く含まれていますが、聴覚だけに頼るとき方向感覚はより鋭敏に働きます。
- 他者や他の立場への思いやりを持つようになります。

〈お手玉〉

- 擦手…掌の労宮というツボが刺激され、集中力が高まる・イライラを押さえ、リラックスする・自律神経が安定し、快眠効果が得られる・高血圧が下がる・低血圧が上がる…など精神を安定させる作用があります。
- 掌上から落す…算数感覚(1という感覚)が身につく、学童期に文章問題が得意になります。
- お手玉キャッチ…相手を意識して投げることで、自分の力をコントロールすることができるようになります。機敏性を養い、何事にも臨機応変に行動する力が育ちます。また、思いやりの気持ちも育ちます。

〈相撲〉日本の伝統スポーツ

- 自分の力を出し切ることで、余っていたエネルギーを発散し、心が落ち着きます。
- 自分より大きい相手(保育士・大人)に勝ったことで、引っ込み思案な子が自信を持てるようになります。
- 落ち着きがない・乱暴・わがままといわれるような子が保育者に負けることにより、敗北を感じ、自分を知り、周りが見えるようになります。
- 我慢する心を育てます。(ルールを守る)
- 友達の応援をし、思いやりの心を育てます



★昔話〈素語り〉★

心地よいリズムや、美しい言葉の響きが子どもたちの身体に直に働きかけ、生き生きとさせ、それに応えるように子どもの心は自在に想像力を働かせて豊かな情景を自分の裡に生み出します。

昔話に耳傾けている時の子どもは、聞こえてくる言葉の響きに心震わせながら、想像力を働かせ、独自の風景と映像を心に創り出して、その像を見ているのです。また、動物たち、おじいさん・おばあさん、泥棒、お姫様・魔法使い、鬼などの登場人物を通して物事の大切なこと・宇宙のからくり・大自然のからくりを学びます。特に動物の要素は子どもの成長にとって大切になります。ぼんやりとした美しい情景〈昔話〉の中で、子ども達は多くの体験をするのです。(※年齢・時間によってお話はかわります。)

★ごっこ遊び★

既成の玩具ではなく、手づくりのもの、自然の中から集めてきたものを与えることで子どもたちの想像力(ファンタジー)をより働かせることができ、内的に活発になることができます。また、人間の手によって(彫ったり、縫ったりして)形作られた自然のおもちゃは温もりを感じることができます。保育園では、布・ひも通し・おんぶひも・木の実・お手玉・木製の積み木・木製の食器などをおいています。

あらゆる役柄になり代わることで、当然かのように自分以外のものの気持ちがわかるようになります。

ごっこ遊びをする中で身につくこと

- 自立〈自律〉性が高まります。
- 自己との対話力をもつようになります。
- 仲間と共に表現する力を発揮します。

